

## 《調査結果報告》

# 第1回グローバルセミナー アンケート調査結果報告

語学教育研究所長 海老澤 邦 江

今回のセミナーは年初め、初回ということもあり、参加者がどの程度見込めるか予測できなかったため、通常授業で使用する大教室を会場とした。当日は、メディア関係の取材者も来場し立ち見が出るほど多くの来場者にまず驚き、セミナー終了後に回収したアンケートの回答から大きな感動と反響があったことがわかり、セミナーの成功に安堵した。

今後のセミナー開催の参考になる貴重な意見や感想もアンケートから聞くことができた。以下にアンケート調査の結果と解説を述べたい。

まず、本学学生向けのアンケート（記名式）内容を提示する。

## 〈アンケート内容〉

## 1. あなたの所属学科と学年に○印をつけて下さい。

学科（人間心理・現代社会・経営社会・マスコミ・情報文化・こども）

学年（4・3・2・1）年

## 2. 学籍番号（ ） 氏名（ ）

1. 所属学科と学年						
所属学科	1 年	2 年	3 年	4 年	合 計	
人間心理	0	3	0	2	5	
現代社会	3	3	2	0	8	
経営社会	12	5	8	3	28	
マスコミ	5	1	1	6	13	
情報文化	14	7	5	4	30	
こども	3	0	0	0	3	

合計 87 名

## 3. 今回のセミナー参加した理由に○印をつけて下さい。(5)を選択した人は簡単に理由を述べて下さい。

(複数回答)

- (1) 補講のかわり (2) 先生に勧められたから (3) ポスター等をみて面白そうだから  
 (4) 自分の将来を考えるヒントになったと思ったから (3) 海外で仕事をしたいから  
 (5) その他 ( )

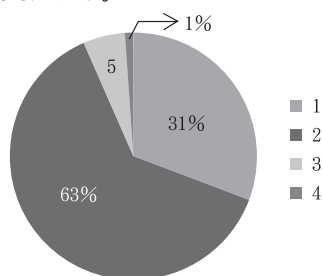
1. 補講のかわり	36
2. 先生に勧められたから	45
3. ポスター等を見て面白そうだから	5
4. 自分の将来を考えるヒントになったと思ったから	10
5. その他	0
6. 無回答	1

## 4. セミナー聴いて、英語の学習意欲は強くなりましたか。(複数回答)

(1) 非常に感じた (2) 感じた (3) 変化なし

1. 非常に感じた	28
2. 感じた。	57
3. 変化なし	5
4. 無回答	1

セミナー聴いて、英語の学習意欲は強くなりましたか。

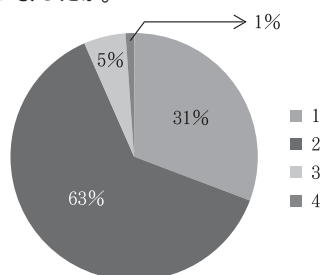


## 5. セミナーを聴いて、英語学習は必要だと思いましたか。

(1) とてもそう思う (2) そう思う (3) あまり思わない (4) 思わない

1. とてもそう思う	31
2. そう思う	53
3. あまり思わない	2
4. 思わない	0
5. 無回答	1

セミナーを聴いて、英語学習は必要だと思いましたか。

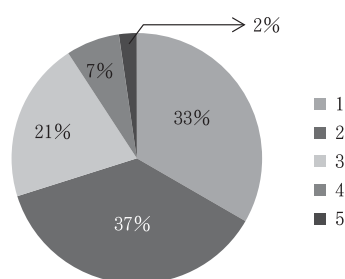


## 6. セミナーを聴いて、海外に積極的に行ってみたいと思いましたか。

(1) とてもそう思う (2) そう思う (3) あまり思わない (4) 思わない

1. とてもそう思う	29
2. そう思う	32
3. あまり思わない	18
4. 思わない	6
5. 無回答	2

セミナーを聴いて、海外に積極的に行ってみたいと思いましたか。



## 7. セミナーの内容で印象に残ったことを述べて下さい。特に良かった点、今後の大学生活に役立つと思うことなどを中心に書いて下さい。

- 日本にいるよりも、無計画でもいいから外国に出てみれば、自分の視野が広がると聞いて、外国の文化に興味が持てました。通訳という仕事は、詳しく知りませんでしたが、今回どれだけ大変でかつやりがいがある仕事かわかりました。
- コミュニケーション能力の大切さを学んだ。
- 人脈を大切にしたい。

- 私も海外に住みたいと思いました。英語が好きなのでとても参考になりました。
- 英語を使った仕事に就きたいと思いました。
- 通訳はとても大変なイメージですが、やりがいはあるなと感じました。
- 日本語も英語もきちんと勉強したいです。
- やりたいことを仕事にするために、ぼんやりとでもビジョンをもつことや出会った人を大切にすることなど今からでもできることなので参考になりました。
- 今後の大学生活に役立つと思ったことは、自分からアクションを起こして無計画でもアメリカに行こうとするエネルギーや、噂や評判に頼るのではなく自分で感じることです。
- また、英語は耳からなれるというアドバイスをいただいたので、シャドーイングとかをどんどん取り入れてやっていきたいです。
- いろいろな苦勞があった中でも英語が喋れるということがとても大切なことだと思った。
- 海外へ行ってみるのは面白そうだなとは思いますが、英語が苦手な自分には怖いと思った。
- 外国で通用する英語を知ったしっかり聞けて、日本人でも通用する英語を話せる堀江さんはすばらしいと思った。
- 自分が好きなことをやるためにも自分の未来をしっかり考えたい。
- 人脈をしっかり築く。
- 周りの目を気にせず、自分がやれることを一生懸命やる。
- ネイティブの人の発言を完璧に真似るように頑張ってみることが英語を発言できるようになるコツ。
- 田中投手の話などが聴けうれしかった。さらにそれだけでなく、堀江さんの人生、生い立ちを聴けたのは、人生の先輩としてとても参考になった。計画なしにアメリカにとんだ話は、正直びっくりしましたが、自分の力で何とかした結果が良い方向につながるのだなと思った。
- 計画びっちり立てるばかりでなく、たまには無計画な旅とかしてみたいです。
- 無計画の外へ飛び出すエネルギーを大切にしたい。
- 自分も海外に行けばあらたな発見ができるのではと考えていたが、どんなことをしたいのかぼんやりとでもいいから自分に目標を持つことで大切であること、多くのことを乗り越えることができるという話に勇気づけられた。
- 目的や目標を持つことが大切だが、どうすれば達成できるのかを計画してから行動を起こすことがとても大切。
- せっかく日本で就職したのに何の計画もなしにアメリカに行ってしまったというエピソードは面白かった。
- 無計画でもどうにかしようとする気持ちがあれば案外どうにかなってしまうものなのだと感じた。この先どうなるのかをいつまでも考えているのなら行動を起こすことが大切。
- どうなるのかを心配するのではなくどうにかしようとする気合いが無くてはダメ。
- 去年の田中投手のシンポジウムに参加していたので、そのときの事とリンクさせながら、話を聞いていたので堀江さんの話も分かりやすくきくことができたと思います。
- 自分の将来を考え今後の大学生活をしていきたいと思った。
- 英語に慣れるにはまず耳からです。
- 社会に出てから助けてもらったひと達を大事にしていくこと。26歳のときにアメリカに渡米して一度失敗して日本に戻り、お金をもう一度貯金しもういちどアメリカへいき人脈をつくり今につながる。
- 自分の趣味や好きなことをまとめておく。
- 英語をできて損はないと思った。
- 今自分自身ぼんやりでとしかやりたいことなどなく不安でしたが、堀江さんの話でぼんやりでもやりたいことを思っていたからこそまで来たと言っていて、ぼんやりでもやりたいことを思っていこうと思いました。
- 堀江さんの英語は流暢で素晴らしかった。
- 自分も今大学の授業で英語を勉強しているからもうとうまくなりたい。
- 英語をどう学んでいくのかについて耳が慣れること、英語はうまい人の真似をすること、そういう環境を作るなど、学び方が分かったのでこれからの勉強で参考にしたいと思った。

- 学生でもしっかり目標や夢を持って取り組むことはやっぱりとても大切だと思いました。
- 堀江さんのお話を聞いて行動することの大切さがよくわかった。
- 田中投手が入団した時のことが初試合の様子を通訳という立場からのお話を聞いてとても有意義であり、面白かった。
- 様々な国の人とも言葉が異なってもやっていけるということが印象に残った。また、通訳と選手は一心同体なんだと感じた。野球にも興味を持った。
- 英語はまず耳から慣れてうまい人の真似をすることが大切だということ。
- 英語を喋るようになるには、英語が得意なひとの喋り方を真似することという言葉が印象に残りました。
- 日本で社会人として働いていて仕事を辞めて無計画で海外に行くと聞いて驚きました。
- 自分が思い立ったらすぐに行動するということは計画がなく困ることもあるかもしれないが、それも含めて今後の人生への教訓は良い経験になると思った。
- 様々な人たちがいる中でひとりひとりの意見をしっかりと聞き入れていくのが大切。
- 小さなことを積み重ねて人脈など様々なことを作ることができると感じた。
- 堀江さんのお話を伺い田中投手に対する熱い思いが伝わってきた。
- 国際社会での英語の必要性を知り勉強のヒントになりました。
- 堀江さんが専属通訳になるまでの生い立ちが印象に残った。
- 思っていたよりも人が多く来場していたのが驚きだった。
- 常に自分のビジョンを持ち続けるということを学びました。
- 堀江さんの積極的な姿勢を見習いたいと思いました。
- ぼんやりでもやりたいことを思っていればその仕事に慣れる可能性が生まれる。
- 自分一人の力ではないことをいつまでも忘れない大切さを世界で働いているひとが行っているのが印象的だった。
- まずは基礎をしっかりした毎日を過ごすのがいいのだと思った。
- 今後英語を頑張ろうと思いました。
- 無計画に行動するエネルギー身に着けたいと思った。
- 何事も最初は挑戦することが必要なんだと思いました。
- これからの大学生活で挑戦をたくさんしていこうと思いました。
- 通訳の仕事話や裏話を聞けて良かった。
- 英語を学びたい意欲がたかまった。
- さまざまな国の人とも言葉が異なってもやっていけるということが印象に残りました。また、通訳と選手は一心同体なんだと感じました。また、野球のことに興味を持ちました。一度野球を見てみたいと思いました。英語も話している人をまねることで学習できることもわかりました。通訳はすばらしい仕事だと感じました。世界から日本を見てみたいと思いました。
- 堀江さんのお話を聞いて、行動することの大切さがよくわかった。田中投手が入団した時のことや、初試合の様子を通訳という立場からのお話を聞けてとても有意義であり、何より面白かった。小さい頃からの基礎的な英語が現在の堀江さんを作っていると聞いて、今から英語を学ぶのではダメだろうかと考えてしまった。英語は耳からという話を聞いて、これからはNHKの英語ニュースに触れていきたいと思った。
- 英語ができるのはカッコウいいと思いました。今、私は大学でやりたいことが具体的にはありません。はっきりとやりたいことを見つけないといけないと思い込んでいたからです。話を聞いて、ぼんやりでもいいから見つけてみようと思いました。大学は、人脈を広げるチャンスだと思いました。学科だけでなく、サークルに入って他学科・他学年の人たちとも関わりが持てるし、インターンシップで社会人の方とも関われると思いました。
- 無計画で海外に行き、それでも自分のやりたい事を追いかけて、折れそうと思って夢のためにグッとこらえて乗り越えてきたから、現在の堀江さんがあるのではないかと感じた。考える前に行動に移すことが大切なことなのかなと思った。
- 通訳になるまでの経歴や苦労話等を聞くことができてよかったです。また、英語の勉強の中で耳から慣れてゆくことの大事さを知ることができたのでよかったです。

- 英語はまず耳から慣れて、上手い人の真似をすることが大事だということ、また、ぼんやりとでもずっと将来のビジョンを持っていたからこそ、チャンスがきたときにすぐに飛びつけたというお話がとても印象に残りました。思ったことを行動する大切さ、目標に向かって無計画でも積極的に突き進んでいく大切さを学ぶことができました。田中投手がヤンキースに入団してからのことをたくさん聴くことができてすごく嬉しかったです。私も目標に向かって積極的に、また英語に慣れるように頑張っていこうと思いました。
- 無計画に行動するエネルギーを身につけたいと思った。英語は耳で慣れるようにしたい。海外に出て、主観的でなく客観的に日本を見る。
- ぼんやりとでもやりたいことを持ち続けること、チャンスは逃さないことは、やはり非常に大切だと思った。人脈、人との繋がりも大事にしていけないといけないこと、自分一人の力ではないことをいつまでも忘れないことの大切さを、世界で働いている方が言っていることは印象的だった。メディアに露出するプロ野球線背不の世界ににいるのに、謙虚さや人柄の良さが堀江さんから滲み出てすごいと思いました。日本語と英語の違いから通訳が難しい言葉も、相手の意見を読み取り伝えたいことを通訳することは大変なのではと考えた。言語を教えあうためにコミュニケーションをとるには、やはり英語が必要と感じた。

#### 8. 次回のセミナーへの要望や希望、その他気がついたことを書いてください。

- 田中投手と同年の巨人軍、坂本投手の話が聞きたい。
- 海外のマスコミはどうなっているのか、日本のマスコミとの違いはなんなのか気になった。
- 学生代表者をもっと参加させたほうが盛り上がると思う。
- もう少し広い教室を使ったほうがいい。
- 海外で活躍しているサッカー選手のはなしを聞きたい。
- 堀江さん自身の人生についてもっと深く聞きたかった。
- もっと質疑応答をしたい。
- もっとたくさんの人にこの話を聞いてほしい。
- もっとたくさん宣伝してたくさんの人に参加してもらうべきだと思った。
- もっと海外で仕事をするひとシリーズで聞いてみたいとおもった。
- スポーツ選手の他にもさまざまな分野の人々の話を聞いてみたいと思った。
- 成人してから海外へ行ったひとの話も聞いてみたいです。

---

#### 〈アンケート結果について〉

アンケートの設問の趣旨は、本学学生の視野の拡大、英語コミュニケーション学習の動機づけ、そして将来の進路を考える上での指針にある。文部科学省の統計によると（後掲参考データ）、([http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/ryugaku/1345878.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/1345878.htm))日本人が海外に留学した数は、2004年には83,000人近くに及んだが、その後2011年には57,000人に減少、翌12年には60,000人と増加に転じている。13年度では大学等が把握している留学者数は、69,000人超、約70,000人に増加している。この数値は、2010年に掲げた目標を達成している。さらに、20年までに現在の倍の120,000人の学生を海外に留学させようという目標を新たに設定している。

文部科学省としては、グローバル化等に対応する人材力の強化のため、日本再興戦略及び第2期教育振興基本計画において、外国人留学生を14万人（2012年（平成24年））から2020年（平成32年）までに30万人に倍増させることを目指しています。また、これと併せて日本人留学生を6万人（2010年（平成22年））から2020年（平成32年）までに12万人に倍増させることを目指しています。さらに、本年6月に開催されたTICAD Vにおける行動計画を踏まえ、アフリカからの留学生の受入れについても、積極的に対応していきます。（文部科学省「今後の留学政策について」[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/ryugaku/1338568.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/1338568.htm)）

海外留学とは、学生の勉学・研究、将来の進路にとって有益であることが前提であり、必ずしも日本の全ての大学生がそれに当てはまるわけではない。しかしながら、上述されている海外からの留学生受け入れについても、現在の2倍に当たる300,000人を目指している。日本国内においてもグローバル化社会に対応する必要性は、文部科学省の方針というだけではなく日本社会が強く求めていることは日常生活の場においても明らかであろう。

日本人は、国内外において外国人とのつき合いに消極的であると言われている。海外においてさえも、日本人同士だけ群れて暮らすなどと指摘されてきている。国内の教育機関においてさえ、留学生との円滑なコミュニケーション、積極的な共同の教育活動が行われているのは、そうした環境や大学の教育方針が整っている限られた教育機関に留まっているのではないだろうか。こうした側面は、多分に海外からの留学生の日本語能力の課題もあるが、日本国内の大学では使用言語と英語とし、海外留学生は日本においても英語で主要単位を取得し卒業できるとする教育機関も現れている。

こうした現状を考えると、日本人学生がいかに異文化に対して好奇心と理解力を持ち、交流を積極的に活性化しようという意識を育てることは、英語学習と並んで重要になるのではないだろうか。異文化の学習や外国人とのコミュニケーションを自ら楽しめる人格を育成する教育は、グローバル化社会に対応する基礎を形作るものとなるのではないかと考える。アンケートには多くの学生が感想などを記述してくれた。学生たちの回答をほぼ無修正することなしに上記に掲載した。これらの回答を読むと、彼らは素直に今回のセミナーを受けとめ、様々な感慨を持ってくれたことがわかる。今回のグローバルセミナーは学生の意識を変えるグローバル社会に対応する教育の場を提供する役割を幾分なりとも果たしたと考える。今後もキャンパス内にグローバル社会の動向に触れる機会を設け、学生の意識の高まり、視野の拡大さらには自ら行動を起こすような環境作りが形成されてゆくことを願ってやまない。

付記 本論中ならびに注の参考にまとめられたアンケート集計と資料作成に関しては、情報文化学科の3年次生、田吹優花さんと張替えみさんの協力を得た。あらためて2人の尽力に感謝します。

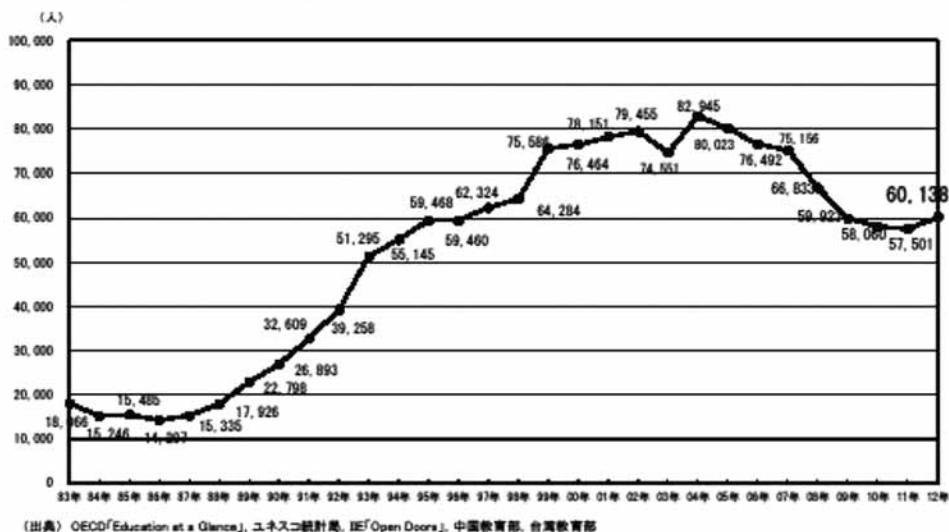
#### 参考データ

(別添1)  
平成27年2月 文部科学省集計

### 日本人の海外留学状況

ユネスコ統計局、OECD、IE等における統計による、日本人の海外留学人数の推移

#### ○日本から海外への留学人数の推移





## ○主な留学先・留学人数（2012年）

	国・地域	留学人数	（前年数）	対前年比	
1	中 国	21,126	(17,961)	3,165人	17.6%
2	ア メ リ カ 合 衆 国	19,568	(19,966)	△398人	△2.0%
3	イ ギ リ ス	3,633	(3,705)	△72人	△1.9%
4	台 湾	3,097	(2,861)	236人	8.2%
5	ド イ ツ	1,955	(1,867)	88人	4.7%
6	オーストラリア	1,855	(2,117)	△262人	△12.4%
7	フ ラ ン ス	1,661	(1,685)	△24人	△1.4%
8	カ ナ ダ	1,626	(1,851)	△225人	△12.2%
9	韓 国	1,107	(1,190)	△83人	△7.0%
10	ニュージーランド	1,052	(1,061)	△9人	△0.8%
	そ の 他	3,458	(3,237)	221人	6.8%
	合 計	60,138	(57,501)	2,637人	4.6%

（出典及び留学生の定義）

・OECD「Education at a Glance」

高等教育機関に在籍する「受入国に永住・定住していない」又は「受入国の国籍を有しない」学生で、正規課程に属する者。

・ユネスコ統計局

高等教育機関に在籍する、「受入国に永住・定住していない」学生。

・IIE「Open Doors」

アメリカ合衆国の高等教育機関に在籍している、アメリカ市民（永住権を有する者を含む）以外の者。

・中国大使館教育部

学生ビザ（Xビザ〈留学期間が180日以上〉）又は訪問ビザ（滞在180日未満）等で中国の大学に在学している者。

・台湾教育部

台湾の高等教育機関に在籍している者（短期留学生を含む）。

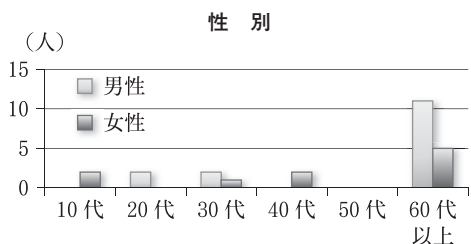
## 一般参加者へのアンケート結果（参考）

〈アンケート設問〉

1. 性 別 （男性・女性）

2. 年 齢 （20代・30代・40代・50代・60代以上）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代 以上	合計
男性	0	2	2	0	0	11	15
女性	2	0	1	2	0	5	10



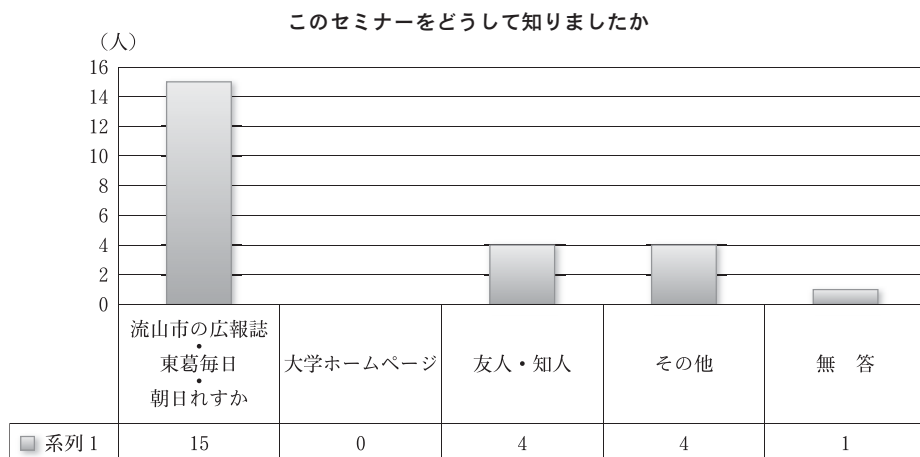
3. このセミナーをどうして知りましたか。

- (1) 流山市の広報誌 (2) 東葛毎日 (3) 朝日れすか (4) 大学ホームページ  
(5) 友人・知人 (6) その他 ( )

流山市の広報誌・東葛毎日・朝日れすか	大学ホームページ	友人・知人	その他	無 答
15	0	4	4	1

〈その他の意見〉

- ・広岡勲先生から案内された。
- ・公開講座を受講して知った。
- ・受講生
- ・参加しているセミナーでパンフレット受領



4. なぜこのセミナーに参加しようと思ひましたか。

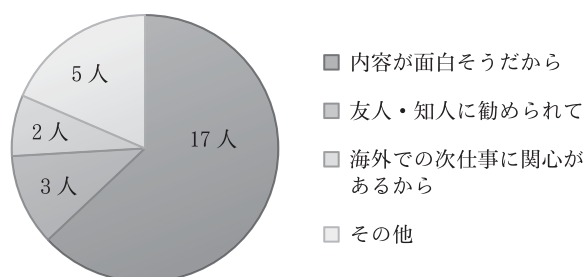
- (1) 内容が面白そうだから (2) 友人・知人に勧められて (3) 海外での仕事に関心があるから  
(4) その他

内容が面白そうだから	友人・知人に勧められて	海外での次仕事に関心があるから	その他
17	3	2	5

〈その他の意見〉

- ・将来の夢が通訳
- ・今年から教職につく
- ・プロ野球の通訳が夢だったから
- ・英語の勉強に役立つと思った

なぜこのセミナーに参加しようと思ひましたか



5. これまで駒木学習センターの講座を受講したことがありますか。

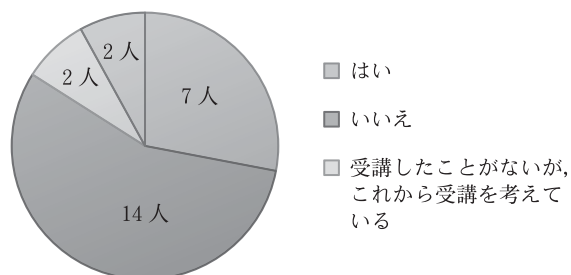
- (1) はい (2) いいえ (3) 受講したことがないが、これから受講を考えている

は い	いいえ	受講したことがないが、これから受講を考えている	無 答
7	14	2	2

〈その他の意見〉

- ・将来の夢が通訳
- ・今年から教職につく
- ・プロ野球の通訳が夢だったから
- ・英語の勉強に役立つと思った

なぜこのセミナーに参加しようと思ひましたか



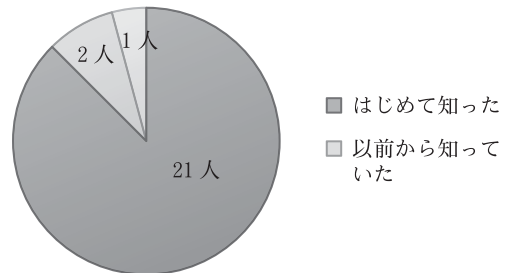


## 6. このセミナーで語学教育研究所の存在について

(1) はじめて知った (2) 以前から知っていた

はじめて知った	以前から知っていた	無答
21	2	1

## このセミナーで語学教育研究所の存在について



## 7. セミナーの内容で印象に残ったことを述べて下さい。

- 海外（野球という）での特殊言語通訳に興味を持った。(60代・男性)
- 講演の中で、目標がぼんやりしているが活動エリアを決めるとか人脈を大切にしておく事が重要と教えられました。(60代・男性)
- 堀江氏の人柄がよくでている。(60代・男性)
- 堀江氏の丁寧な解説にいい印象を受けた。(60代・男性)
- 私は通訳という仕事に就きたいと思っているので、今日の話を明日から生かしていきたいです。(10代・女性)
- 特に通訳になりたいと思ったわけではなく、飛び込んできたチャンスによってめぐりつuitのが意外だった。自分のやりたいことをぼんやりとでも良いから、常に考えることの重要性を学んだ。(30代・女性)
- 今の世界から一歩出ることによって、自分の世界から広がると改めて感じました。(40代・女性)
- 今年から日本で同じ職業に就くので参加しました。テレビで拝見していたのと同じように温かさのにじみ出ている方だなと改めて思いました。一言一句訳そうとせずニュアンスやメッセージを伝えようとすること、人の繋がりをコミュニケーションを大切にすることを学びました。(30代・男性)
- 人脈を大切にすること。ぼんやりとビジョンを持ってチャンスをつかむこと。(20代・男性)
- やはりNY Yankeesで通訳をされているという事で経験だったり、現場でしか感じられない話を聞くことができて大変良かったと思います。海外に行く上で英語に対する難しさや偏見を少しでも取り除くことができました。(30代・男性)
- 海外体験を肌で感じられる、ライブの会場が楽しかった。(60代・男性)
- 何かを成す人は、「人」を大切にし又強い意志を持っているということを強く感じました。(60代・女性)
- 生のお話を誠実にしていただいて楽しい時間を過ごせました。学生方の今後に大いに役立つことと思いました。(60代・男性)
- 学生の準備不足が目立ちました。せっかくの機会ですからもっと多角的な面からの質問をしてほしかったと思いました。英語は特殊な言葉ではなく今では一般的な言葉です。英語ができてでもディスカッションができなければ意味がありません。英語ができなければこれからの世界で生きてはいかれないということを肝に命じるべきだと思いました。(60代・男性)
- 堀江通訳の苦労話を聞きたかった。(60代・男性)
- 通訳で大事なことは、細かく丁寧に通訳するのではなく言わんとする事を伝える。(60代・男性)
- 人、人の出会い、人脈、とても大切だと思いました。(60代・女性)
- 職業として生きて行く事は大変な時間を多く過ごしていると知った。(60代・男性)
- 海外、特殊な世界（野球）で完全に溶け込んで生活を楽しんでいる様子、大変感心しました。(60代・男性)
- 堀江さん、江戸川大学の教授の皆様、素晴らしい体験をお話いただきありがとうございました。私自身このような機会のお話にご参戦できるように日々精進していただきたいです。(20代・男性)
- 「海外で仕事をするとこということ」というタイトルに惹かれて受講したが、その意味や問題点にあまり触れられておらず残念な印象だ。学生の多くは、海外でなれ組織の中で働くことが多いはず。日本の組織の差や仕事の進め方の差などもっと現実的な側面にも触れてほしかった。(不明・男性)